

各 位

長崎県保険医協会
会長 本田 孝也

被爆体験者署名ご協力をお願い —目標 1 万筆—

菅総理は8月6日、広島の平和記念式典で「原告の皆様と同じような事情にあった方々についても、救済できるよう早急に検討を進めてまいります」と挨拶し、原告2人に「長い間、ご苦労をおかけしました」と声をかけました。

しかし、その3日後、8月9日、長崎の平和記念式典の挨拶では、同じような事情にある被爆体験者には一切触れず、その後の記者会見でも「現在行われている裁判の行方を注視していく」と突き放しました。

今度こそ被爆者と認めてもらえる。被爆体験者の喜びは落胆に、希望は諦めに変わりました。

広島と長崎でこれほどの違い、差別があってよいものでしょうか。このような不合理的が許されてよいのでしょうか。

長崎県保険医協会では全ての被爆体験者を被爆者と認定し、速やかに被爆者健康手帳を交付することを求める署名に取り組むこととしました。1万筆を目標とします。

被爆の実相、「長崎の声」を首相に届け、被爆体験者の悲願を実現するために、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

署名集約期間:8月18日～9月30日

- ①署名用紙はチラシのQRコード (<https://www.vidro.gr.jp/2021kuroiame/>) からダウンロード下さい。
- ②インターネットでも署名できます。

*署名頂きました用紙は下記までお送り下さい。

取扱い団体：長崎県保険医協会

〒850-0056 長崎市恵美須町 2-3 フコク生命ビル 2F TEL：095-825-3829

長崎の黒い雨

長崎原爆が投下されると爆心地に巨大な原子雲が発生し、同心円状に広がりながら風速3mの西風によって東方へ流れました。



被爆体験者が記憶をもとに描いた絵。旧戸石村より長崎市街を望む。

夜ではありません。
原爆投下の約1時間後の
真昼の情景です。
空が真っ黒になり、太陽が
梅干のように赤黒く宙に浮
いていた。空から灰やごみ
が沢山ふってきた。
空に浮かんでいるのは観
測用ラジオゾンデをつるし
たパラシュートです。

被爆未指定地域を含む、長崎の広い範囲で黒い雨が降り、放射能を含んだ灰や塵が降下しました。それらの地域で米国マンハッタン調査団により原爆由来の放射線が検出されています。2011年の土壌調査では被爆未指定地域においても原爆由来のプルトニウムが確認されています。

長崎黒い雨マップ

長崎県保険医協会作成

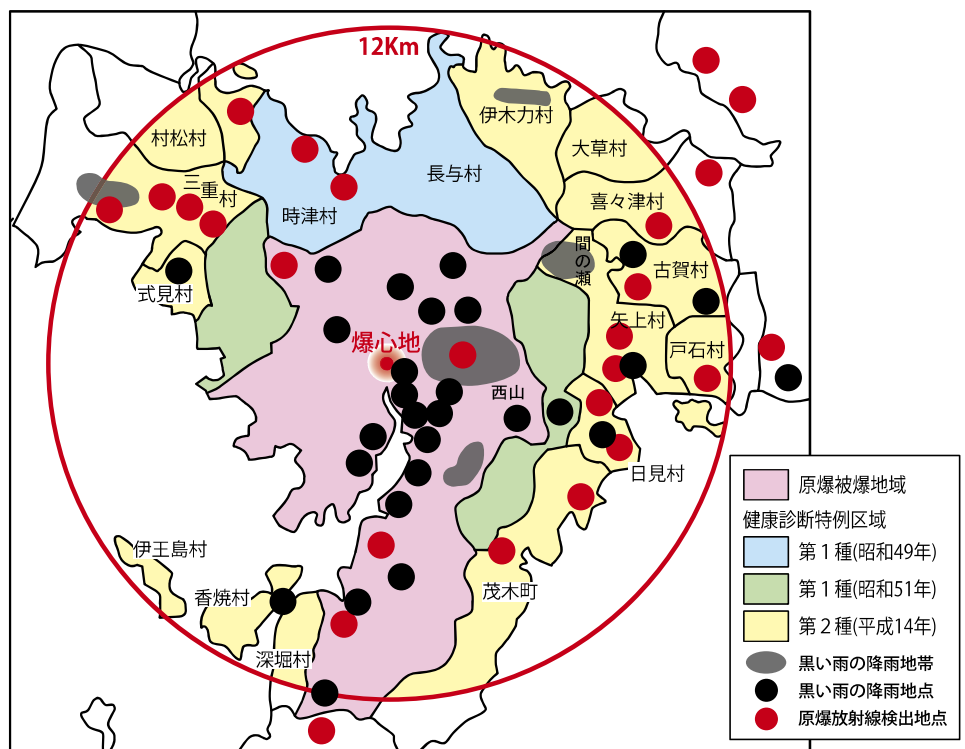
被爆未指定地域の住民は放射能で汚染された水を飲み、作物を食べて生活しました。広島黒い雨地域の住民と何ら違うところはありません。

拡散してください!!

インターネットで
署名用紙をダウン
ロードできます



インターネットでも
署名できます



(参照) 黒い雨地点：2011年放射線影響研究所公開資料「雨」の回答地点
長崎市作成原爆被爆地域図 長崎県保険医協会聞き取り調査
原爆放射線検出地点：1945年米国マンハッタン調査団最終報告書